

活動レポート

No.15 2016年1月30日発行

OLC+ オアシスライフ・ケア



2016年1月の南三陸町志津川地区。間もなくで5年。

巻頭言

死んでも生きる

あの日から丸五年を迎えようとしている今、私の心には「復活」という言葉が留まっています。残念ながらどこで聞いたか思い出せませんが、あるとき誰かが「私は被災者から復活者になる」と言ったのを耳にして、その言葉だけがいつも心から離れません。

世界中のクリスチャンは、毎春イースター（復活祭）を祝います。聖書は、約二千年前にイエス・キリストが十字架にかけられ、墓に葬られ、三日目に復活され、その後天に昇られ、目には見えないけれど今も生きて私たちに働きかけてくださっていると教えています。

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」（ヨハネの福音書11：25）

「死んでも生きる」という言葉が今、胸に迫ってきます。

そもその初めから、スタッフそれぞれに大なり小なり震災のダメージがある中で働きを進めてきましたので、肉体的・精神的に倒れてしまった

時期もあり、死というと大げさかもしれませんが、闇の力、負のエネルギーに打ち負かされそうになったことも少なくないのです。

でも、そんな私たちに対して、イエス・キリストは「復活者である私を信頼しなさい。私があなたに『死んでも生きる』という力を授けるのだ！」と語られます。これは、私たちがこの五年間、繰り返し聞いてきた「がんばろう」「ふんばろう」「負けるな」というメッセージではなく、「私があなたを生かす」「負けても勝つ、死んでも生きる」という神様からのメッセージです。

この力強く希望に満ちた「復活」のメッセージを発信すべく、震災から六年目に入るこの年も働きを進めていきます。「復活」しつつある森郷キャンプ場のプロジェクトもこの紙面をお借りして紹介させていただきますが、支援拠点として1万5千人を送り出したあの場所が、今後さらに、人々の身体・心・魂の奥底に「復活」の命をもたらす場として用いられていくことを願っています。

終わりにになりましたが、皆様の力強いお祈り・ご支援、ご指導に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

代表 松田牧人



特集：森郷キャンプ場の「^{いま}今日」と「^{みらい}明日」

オアシスライフ・ケアの母体であるオアシスチャペル利府キリスト教会が運営するキャンプ場です。別紙「東日本大震災による被害～その後の歩み」と合わせてご覧ください。

野外礼拝堂にて仮設住宅の方々をお招きしてのノルディックウォーキング&芋煮会。後方建物は新礼拝堂。

森の中のコンサート

木漏れ日の眩しい8月9日、新しくなった礼拝堂での記念すべき初イベント、森の中のサマーコンサート「THE BOOK」を開催しました。ゲストは、東日本大震災以降、足繁く被災地に通い続けている韓国人ピアニストのゴン・ミン氏をはじめ、サクソフォニストのパク・クァンシク氏、劇団四季テナー歌手ビョン・ホギル氏、そしてソプラノ歌手のシオン氏です。彼らの活動の源である「THE BOOK(聖書)」についても力強く証していただきました。会場は、地域の方々やそのお友達でいっぱい。美しく力強い音楽と楽しいトークで、笑顔あふれる午後のひとときとなりました。



音響機器を導入



森の中の礼拝堂は、音の響きがとても良い上に、周りを気にせず、心行くまで音楽を奏でることができる素晴らしい環境です。11月には待望の音響機器を設置！テストも兼ねた「ゴスペルセッション・ナイト」には、震災以降被災地に足を運び続けている日本各地のゴスペルアーティストたち(足立学、MIGIWA、他)が集結！豪華すぎる、そして楽しすぎる一夜を過ごしました。こうして少しずつ

森郷は整えられています。皆さんのささげものとお祈りに心から感謝いたします！

仮設住宅の方々をお招きして

11月17日、東松島市の矢本仮設住宅にお住まいの皆さんを、初めて森郷にお招きすることができました。30名ほどの皆さんと秋色のキャンプ場をウォーキングし、芋煮とバーベキューに舌鼓を打ちました。お昼のあとは、サマリタンズ・パース（震災後、森郷をボランティアベースとして使用した国際的支援団体）の活動である「クリスマスシューボックス」作りを新礼拝堂で行いました。震災を通して神様が結んでくださった様々な絆が活かされています。震災後に継続して仮設住宅に赴いて関係を育んできた皆さんと森郷で一緒に過ごす機会が与えられたことは、大きな感激でした。森郷が、震災で深く傷ついた方々にキリストの愛を証できる拠点として、これからも用いられていきますように…。



明日へ：次のステップ

宿泊棟



震災により危険と判断されたいくつかの建物を解体した結果、森郷キャンプ場はキッチンと入浴施設を失ってしまいました。そこで、次のステップとして、残された宿泊棟に入浴施設と簡易キッチンを併設するリフォーム計画を立てています。また、宿泊棟に「祈りの部屋」「スタッフの住居」を組み込むことも予定しています。それに伴い、新しい浄化水槽の設置や場内の道路整備が必要となります。

将来のカフェ建設へのステップとして、場内全体が相互補完的に機能していくよう段階的に整えていくことを目指し、2016年秋までのリフォーム完了を目標としています。

祈りの課題

- ① 震災によって大きな被害を受けながらも被災地支援の拠点として大きく用いられた森郷キャンプ場が、これからは人々の将来に希望をもたらす場所となりますように。
- ② 次のステップ（宿泊棟リフォーム）のために必要な資金「約400万円」が満たされますように。
- ③ 震災から5回目の冬、未だ仮設住宅にお住まいの被災者の方々の生活が守られますように。
- ④ Morigo サポートーズ（現在79名）と森郷キャンプ場を覚えてくださる方がこれからも増やされますように。



最終年「Final Year」のお知らせ

間もなくで東日本大震災から丸五年。震災を機に誕生した内職支援プロジェクト『SHIZU 革』も11月で五周年を迎えます。編み手のお母さん方も5歳年を重ね、大半が60代半ば以上となりました。震災で休職を余儀なくされたことによりSHIZU 革に参加されていた方々も徐々に復職し、多い時で12名だった編み手も現在では5名となりました。

このような現状もふまえ、2016年をSHIZU 革プロジェクト最終年「Final Year」とさせていただきます。SHIZU 革五周年を区切りと捉え、11月までは製作・販売を継続する予定ですので引き続きご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

当初から、SHIZU 革はその全品が革紐を手編みして作るシンプルな革製品でした。革細工未経験のお母さん方でもできる手軽さゆえです。丸五年。日々コツコツと編み続けることで、お母さん方にはこだわりが芽生えました。革を編むことが日常となり喜びともなりました。シンプルな作りに変わりはないものの、作る自覚は変わりました。誰にでもできる革細工から、志津川のお母さん方にしかできないSHIZU 革へ。

ここに至るまで、個人はもとより著名人や企業からの多大なご協力をいただきました。わざわざ志津川を訪れ、作業を手伝ったり、お茶を飲みながら共に語り合ったりするボランティアも多数いらっしゃいました。各種メディアでもとりあげられ、海外からの関心も寄せられました。

プロジェクトの目的は「風化防止のきっかけ」「現金収入」「語り合いの場」「生きがい」を創出すること。それぞれについて余りある成果を見ることができたと考えております。ひとえに皆さまからの「ご志援」のおかげです。心より感謝申し上げます。編み手のお母さん方は、プロジェクトが終了したその先も、体力や視力の許す限り、個人の趣味として革細工を楽しみたいと願っております。そして何よりも、編み手・スタッフにとっては、皆さまへの感謝こそが風化させてはならないことの一つとなりました。編み手・スタッフがそれぞれのSHIZU 革を手にする度に、まずは感謝を覚え続けたいと思います。ありがとうございます。そして、これからも最後の最後までよろしく願いいたします！

編み手・スタッフ一同

スポーツ&レクリエーション支援

被災地には未だ様々なニーズ、課題があふれています。その一つが、慢性的な運動不足です。仮設住宅にこもりがちな高齢の方々、遊ぶ場所や相手（家族や友人）を失った子どもたち…。オアシスライフ・ケアでは、スポーツやレクリエーションの支援を継続しています。今年度は、仮設住宅を訪問するケア・プログラムに加えて、二つの新しいチャレンジを行いました。一つめは、再建進



行中の森郷キャンプ場に被災したの方々をお招きし、豊かな自然の中でトレッキングやエクササイズを楽しんでいただくプログラムの提供。もう一つは、公共の施設をお借りしてのサッカー教室（対象は OLC 所在地・利府町の子どもたち）の定期開催です。「行く」「招く」「集める」の三つの方法を使って、支援の必要な方々にアプローチすることができました。将来的には、再建プロジェクトとリンクさせながら、森郷キャンプ場で、老若男女問わず地域の人たちが、自然の中で楽しんだり憩ったりしながら、心も体もリフレッシュできる時間を創出、提供できるようになりたいと願っています。

コンサートのご案内

震災から丸五年となる3月、イエス・キリストの復活祭（イースター）に、「震災からの復活（復興）」と「森郷キャンプ場の復活（再スタート）」への想いも込めて、イースターコンサートを開催します。

メインゲストは、シンガーソングライターの福原タカヨシさん。震災後、滋賀県から被災地へ足繁く通い、「福ちゃん」の愛称で親しまれています。昨年3月、交通事故にあい下半身に大けがを負いましたが、痛みと辛いリハビリの中でも希望と励ましのメッセージを発信し続けています。

たくさんの方々と一緒に、「復活」をお祝いしたいと願っています。皆様のご来場をお待ちしております！

- ・日時：2016年3月26日（土）14時～
- ・場所：Morigo 礼拝堂（森郷キャンプ場内）
- ・メインゲスト：福原タカヨシ
- ・対象：小学生以上
- ・入場料：大人（中学生以上）¥1,500 / 小学生 ¥1,000
- ・お問い合わせ先：gospel@oasislifecare.org



シンガーソングライター 福原タカヨシ

ご協力をお願い

皆様からのご支援・ご協力を心から感謝申し上げます。

2016年度も継続して有益な働きを続けていきたいと願っています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

寄付・献金の窓口（ゆうちょ銀行）

■他金融機関より

店名：八一八（読み ハチイチハチ）

口座番号：普通 4130375

口座名：オアシスライフ・ケア

■ゆうちょ銀行より

記号：18110

番号：41303751

口座名：オアシスライフ・ケア

ご連絡・お問い合わせ先

オアシスライフ・ケア

〒981-0104 宮城県宮城郡利府町中央2-5-1

（オアシスチャペル利府キリスト教会内）

TEL & FAX 022-356-2494（オアシスチャペルと兼用）

MAIL info@oasislifecare.org

WEB <http://oasislifecare.org/>

※定期的に発行しているニュースレターをご所望の方は、お手数ですが当方までご連絡ください。

※過去の活動レポートは当方のウェブサイト上で閲覧いただけます。